

システムキッチン アルファミア

施工説明書

このたびは当社商品をお取り扱いいただき
誠にありがとうございます。

このシステムキッチンは非常に高価なものですので
お客様に十分ご満足していただけるよう
本説明書の内容を十分ご理解のうえ、正しく
お取り付けください。

もくじ

●安全上のご注意〈必ずお守りください〉	1	9. L形カウンターの接続部の仕上げ	10
●施工前の確認		10. 食器戸棚・トールキャビネットの取付け	11
1. 部材の確認	4	11. 冷蔵庫用サイドパネルの取付け	11
2. 施工現場のチェック	4	12. 支輪の取付け	12
●施工方法		13. けこみ巾木の取付け	12
1. 墨出し	5	14. 水栓金具・排水器具の取付け	12
2. 付属品の確認	5	15. ビルトイン機器の取付け	13
3. ウォールキャビネットの取付け	6	16. 配管・配線の接続	13
4. レンジフードの取付け	7	17. コーキング	13
5. ベースキャビネットの取付け	7	●施工後の調節	
6. カウンター固定金具の取付け	8	1. 扉の調節	14
7. シンクの取付け	8	2. 施工後の確認と養生	15
8. カウンターの取付け	9		

●安全上のご注意 〈必ずお守りください〉

■ここでは、施工作業者の方が、安全にシステムキッチンの取付作業を行って頂けるように、取付作業中の事故を回避するための注意事項と、取付後ご使用になる方が、システムキッチン safely にご使用頂けるように、使用中の事故を回避するための施工上の注意事項をあげています。

この安全上の注意事項をよくお読みの上、正しく施工を行ってください。

- 施工完了後、施工後の確認事項にしたがって各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。
粉失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。

■警告表示の見方

- 表示内容を見逃して誤った施工をした時生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は「使用者または施工者が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は「使用者または施工者が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は、絵表示の一例です。)

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

⚠ 警 告

電気配線の接続・電気コンセントの設置が必要な場合は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。
※誤った方法で行うと施工中及び使用中の発煙・火災・感電の原因となります。



人造大理石カウンターの接続に使用する接着剤は、接着剤に付属の施工説明書(注意表示)に従って正しく使用し、後処理してください。

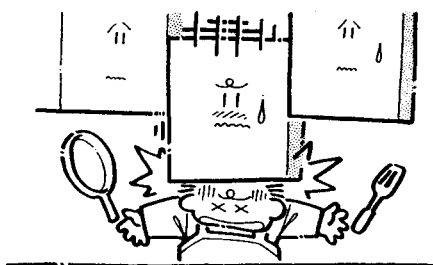
※誤った使い方・後処理をすると人体に影響が出たり、発火の原因となります。



△ 注 意

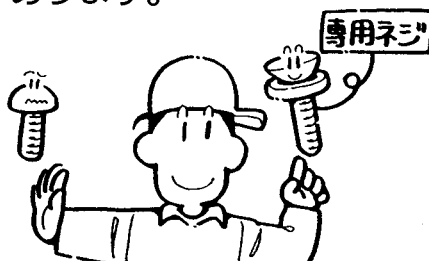
ウォールキャビネットを取り付ける取付用木が指定通りにできていることを確認してから取り付けてください。

※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



ウォールキャビネットは必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。

※適切なねじを使用せずに取り付けると、ねじの緩みが原因で使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



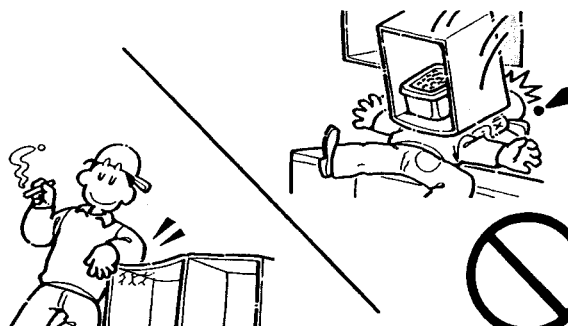
キャビネットの運搬時には、キャビネットの背と底の部分に手を掛け運搬してください。

※キャビネットの栈木・幕板を持って運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。



取付途中のキャビネットの上に乗ったり、もたれ掛かったり重量物を載せたりしないでください。

※キャビネットが破損または落下してケガをする恐れがあります。



シンクを運搬・据え付けの際はシンク底部を持つか、手袋を着用して作業し、フランジ端部・排水口部に直接手を掛けないようにしてください。

※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。



人造大理石カウンター・ステンレスカウンターのL形コーナー接続部の鋭角部分には直接手を触れないようにしてください。

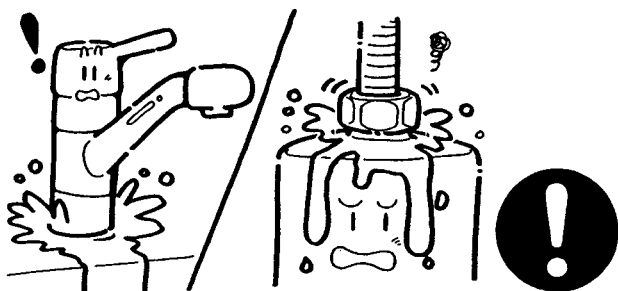
※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。



△ 注 意

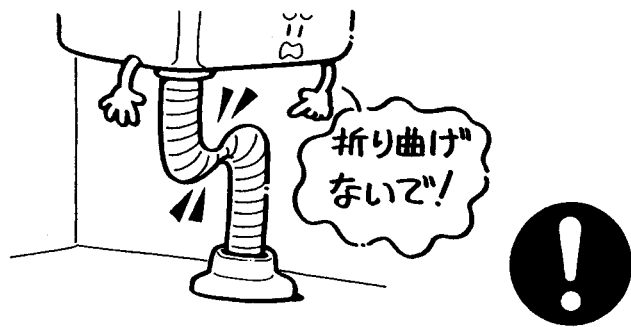
水栓金具・排水部品(大形ごみ収納器・他)の取付部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。

※ナットの締付けが十分でないと使用中に取付部から漏水する恐れがあります。



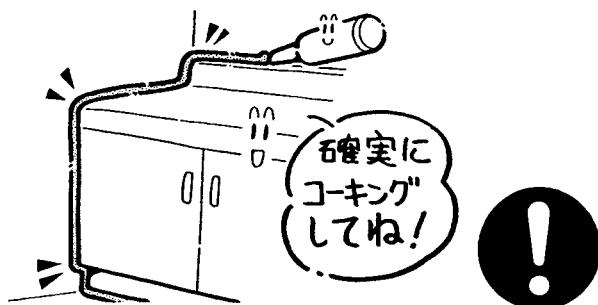
排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水口との接続を確実に行ってください。

※使用中の漏水の原因となります。



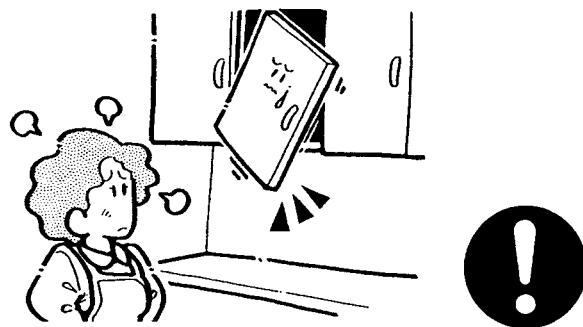
シリコンコーキングの指示箇所は、確実にコーキングを行ってください。

※コーキングされなかったり、コーキング不十分な場合水が浸入し、壁・床の腐食の原因となります。



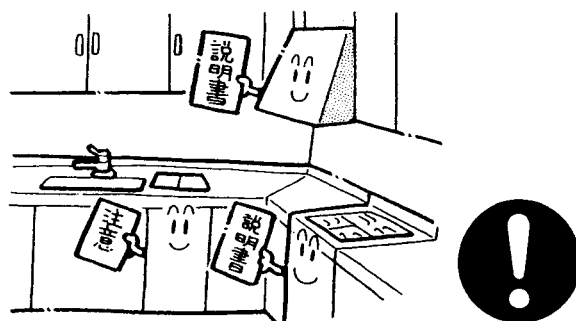
扉の調節後は全ての扉の指定のねじを固く締め付けてください。

※締付けがあまりいと、蝶番が外れ、扉が落下する恐れがあります。



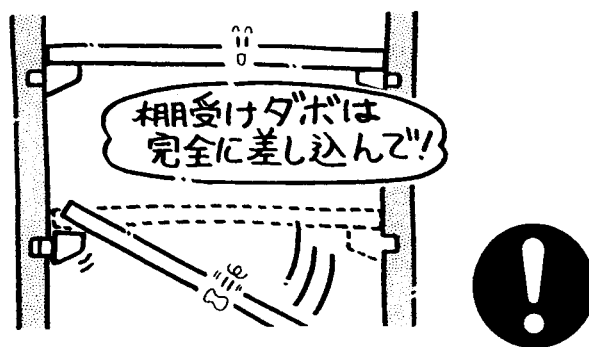
ビルトイン機器(換気用機器・加熱調理機・その他の機器)については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧ください、正しく施工を行ってください。

※誤った施工を行うと思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。



棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットしてください。

※棚板が落下してケガをする恐れがあります。



● 施工前の確認

1. 部材の確認

受け取った商品について部材品番明細表を基に、品番・数量をチェックしてください。システムキッチンは点数が多く間違い易いので、入念に行ってください。（セット品番で入伝されている場合、部材品番明細表が、シンクベースキャビネット梱包に入れてあります）。

2. 施工現場のチェック

施工図面どおり現場ができているか、以下の項目について確認してください。

1. 壁の垂直度
2. 壁間寸法
3. 床の水平
4. 窓の位置
5. ウォールキャビネット取付用木の位置及び寸法

⚠ 注 意

ウォールキャビネットを取り付ける取付用木が指定通りにできていることを確認してから取り付けてください。

※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



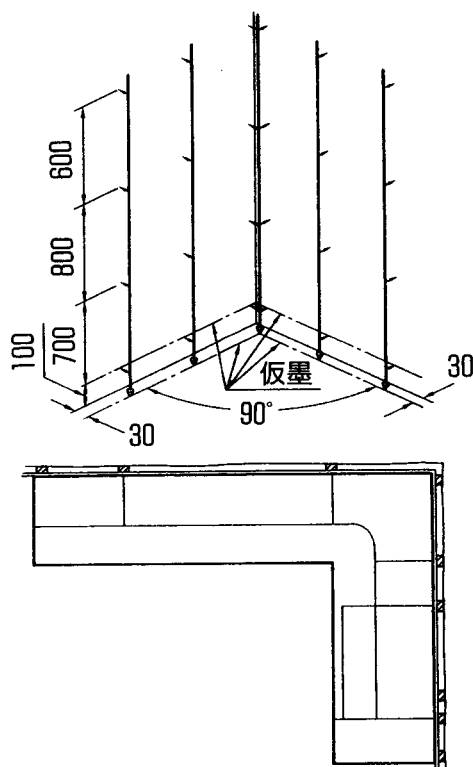
6. 給排水管の位置
7. ガス管の位置
8. 電源取出位置
9. 排気口の位置及び寸法

● 施工方法

1. 墨出し

(1) 基準墨出し

- ① プラン上、長辺側の床に壁から30mmの寸法で仮墨を打ちます。
- ② カネ尺または3：4：5の直角三角形の原理を利用して直角を出し、同様に短辺側の床に仮墨を打ちます。
- ③ 1m程度の間隔で下げ振りを下ろし、下図の左側に記入した高さの部分の下げ振りから壁までの寸法を測定し、最も突出した部分を探し出します。寸法は記入しておいたほうがよいでしょう。最も突出した点を含む垂直面、水平面がそれぞれ壁、床の基準面になります。



(2) 取付用墨出し

- ① 仕上がり床面を基準にして、ベースキャビネットの上端、ウォールキャビネットの下端（または上端）の位置に正確に墨出しします。（床の仕上げはシステムキッチンを取り付ける前に完了していることが原則です。キッチン取付けの後、床を仕上げる場合は、仕上材の厚みを考慮して取付位置を決めないと、ビルトイン機器のメンテナンスができません。）

- ② 墨出し終了後、排気口、窓枠など高い精度が要求される寸法を再度チェックします。

* 主要寸法 イ) 標準取付高さ…2300mm

(ウォールキャビネット上端)

ロ) ウォールキャビネット下端高さ

500Hの場合…1800mm

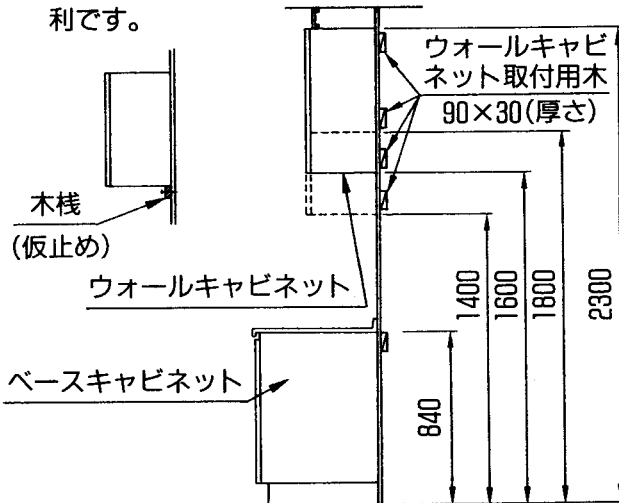
700Hの場合…1600mm

900Hの場合…1400mm

ハ) ベースキャビネット上端高さ

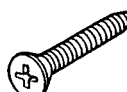
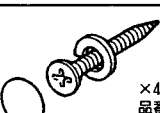
一般の場合……840mm

* 実際のウォールキャビネットの取付けの際は、支えのため木棧を下図のように仮止めしておくとう便利です。



2. 付属品の確認

シンク用ベースキャビネット及び、その他のキャビネットに次の付属部品が同梱されています。

カウンター固定金具	カウンター固定金具取付ねじ	キャビネット連結ねじ	シンク固定金具・取付けねじ
 ×4ヶ/キャビネット1台 品番:SK-00010SUS ※シンク・W150・コーナーベースは、除く。	 ×4本/金具1ヶ 品番:SK-7 寸法:3.5×16	 ×4本/キャビネット1台 品番:SK-R14A 寸法:3.5×32	 ×4組/シンクベース1台 品番:KP-R355S ビス寸法:2.1×10
棚受けダボ	ウォールキャビネット取付用キャップ付き木ねじ	スペーサー	
 ×4ヶ/棚板1枚 品番:SK-00121W	 ×4本/キャビネット1台 品番:SK-R4 寸法:5.1×50	 ×各1枚/シンクベース1台 品番:ES-20250-AS 寸法:t1.3.5×20×250	

3.ウォールキャビネットの取付け

⚠ 注 意

取付途中のウォールキャビネット内・外に工具などの重量物を載せたり、もたれ掛かって力を加えたりしないでください。

※取付中のキャビネットが落下、または破損してケガをする恐れがあります。



ウォールキャビネットは必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。

※適切なねじを使用せずに取り付けると、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



キャビネットの運搬時には、キャビネットの背と底の部分に手を掛け運搬してください。

※キャビネットの栈木・幕板を持って運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。

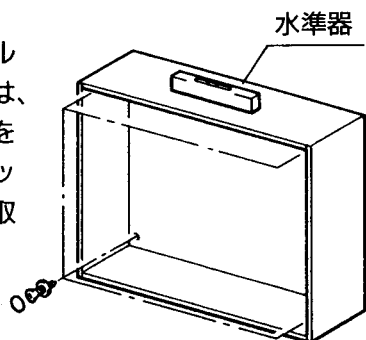


棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットしてください。

※棚板が落下してケガをする恐れがあります。



- (1)先に取り付けるべきウォールキャビネット（L型の場合は、隅ウォールキャビネット）を水準器等を利用して、キャップ付木ねじで壁面へ正確に取り付けます。



- (3)レベルを調節しながらウォールキャビネットをキャップ付木ねじで壁に仮固定します。

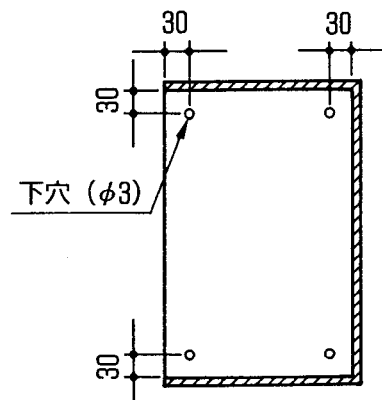
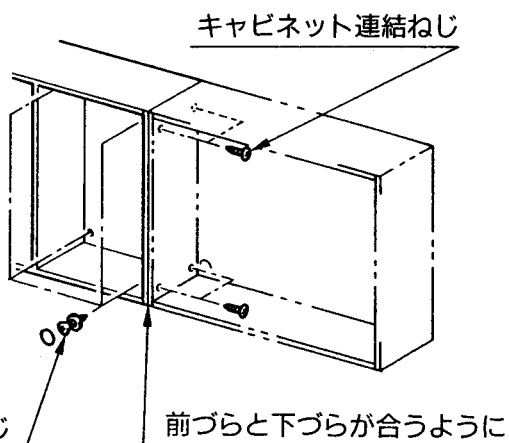
- (4)以下、(2)～(3)を繰り返して取り付けます。壁とのすき間をくさびなどで調節しながら、ウォールキャビネットの前面が一直線になるよう木ねじを締め付け直します。

- (5)ねじの頭にキャップを取り付けます。

- (6)棚受けダボをダボ穴に差し込み、棚板をセットします。

- (2)隣に取り付けるべきウォールキャビネットを先に取り付けたウォールキャビネットと本体前面、下面が合うように片側のウォールキャビネットの内側からキャビネット連結ねじで接続します。

※この時、一方のキャビネットの側板にφ3の下穴を開けてから接続します。



連結用下穴位置

4.レンジフードの取付け

レンジフードに付属の工事説明書に基づいて取り付けます。

5.ベースキャビネットの取付け

△ 注 意

取付途中のベースキャビネットの上に乗ったり、もたれ掛かったり重量物を載せたりしないでください。

※キャビネットが破損してケガをする恐れがあります。

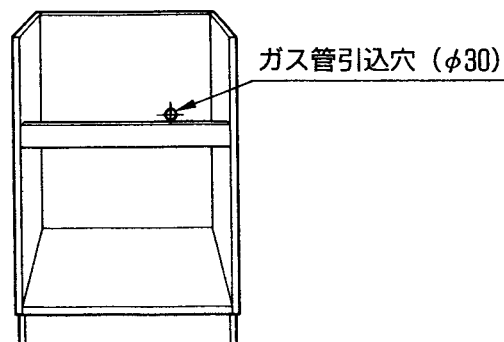
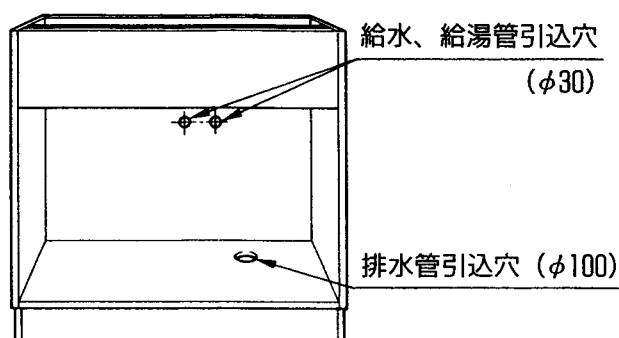


(1)図面に基づきベースキャビネットを所定の位置に仮設置します。

(2)ホルソー、自在キリなどを利用して、給水・給湯管、排水管、ガス管の穴あけをします。

(イ) 給水・給湯管、排水管用の穴あけ

(ロ) ビルトインコンロのガス管用穴あけ

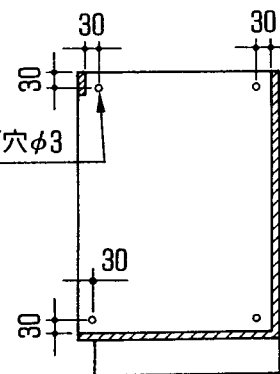
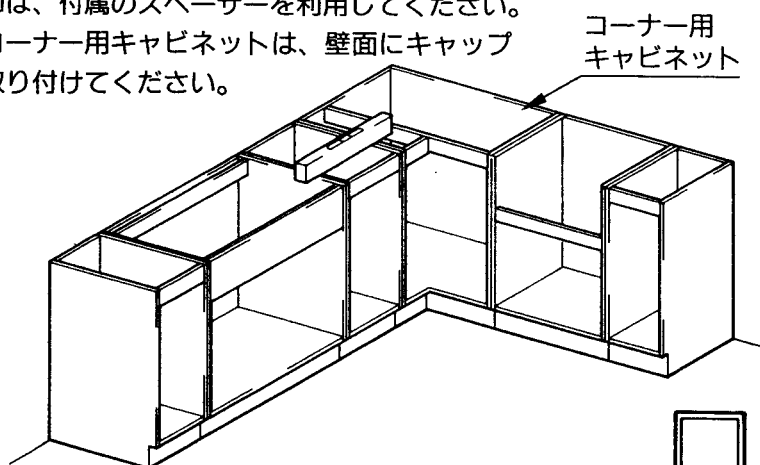


(3)ベースキャビネット上端の墨 (H: 840) を基準に、水準器でレベルを確認しながら全てのベースキャビネットをキャビネット連結ねじで接続します。

※この時側板にφ3の下穴を開けてください。

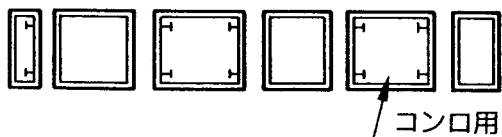
※レベルの調節は、付属のスペーサーを利用してください。

※L形の場合コーナー用キャビネットは、壁面にキャップ付木ねじで取り付けてください。

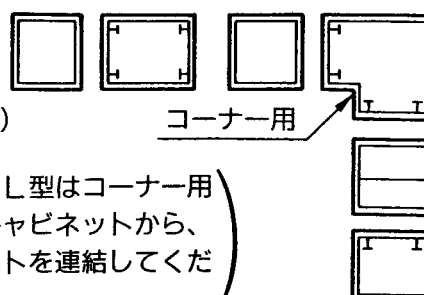


連結用下穴位置

(I 型)



(L 型)



※I型はコンロ用、L型はコーナー用から1つおきのキャビネットから、各々のキャビネットを連結してください。

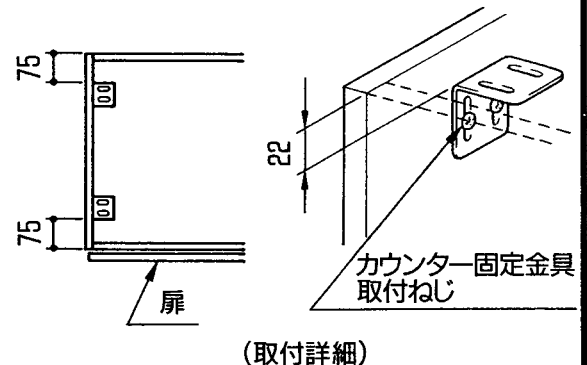
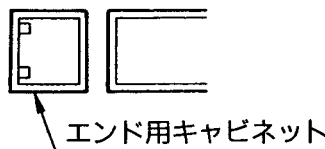
6. カウンター固定金具の取付け

カウンター固定金具をベースキャビネットの下図の位置に、カウンター固定金具取付ねじで取り付けます。
金具を取り付けるキャビネットは、

- シンク用、コンロ用キャビネットの両サイドのキャビネット



- カウンターエンドに配置されるキャビネットです。



※なお、現場での取付けが煩雑となるようなキャビネットには、あらかじめカウンター固定金具を取付けておきます。

金具をあらかじめ取り付けているキャビネット

- シンク用ベースキャビネット
- コーナー用ベースキャビネット
- W150ベースキャビネット

※カウンターとベースキャビネットの固定は、必要最小限の箇所に限定しています。従って、カウンターの補強木位置は、全てのベースキャビネット側板に対応して取り付けられているわけではありません。

7. シンクの取付け

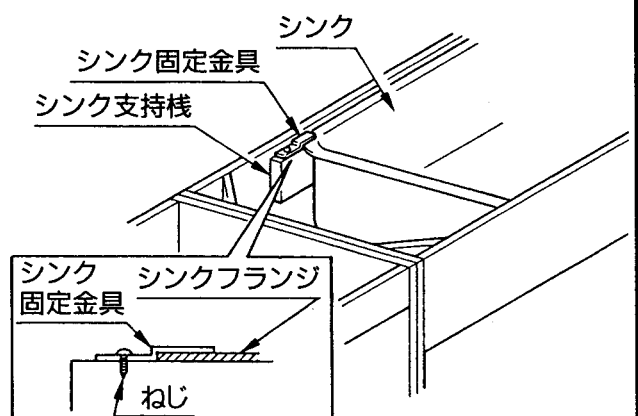
⚠ 注 意

シンクを運搬・据えつけの際はシンク底部を持つか、手袋を着用して作業し、フランジ端部・排水口部に直接手を掛けないようにしてください。
※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。



(人造大理石カウンターの場合)

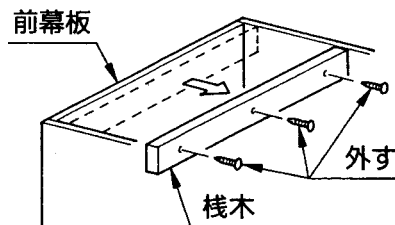
- (1)シンク用ベースキャビネットのシンク支持棧にシンクがキャビネットの中央になる位置にセットします。
 - (2)シンクをシンク支持棧に、シンク固定金具でフランジを押さえ、ねじで固定します。
 - (3)カウンターをベースキャビネット上に仮置きしシンク位置の確認をします。
(左右、前後の取り合い及びシンク固定金具がカウンターとシンクの間より出していないか)
- ※シンク、カウンター間のコーキングは、キャビネットへのカウンター固定終了後行ってください。



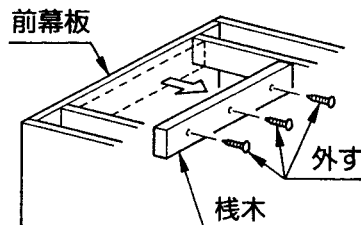
(ステンレスカウンターの場合)

カウンターと一体になっているため、シンクの固定の必要はありません。

※ステンレスカウンターの場合は、キャビネット前幕板裏面に取り付けられている栈木を取り外してください。この栈木は、開梱後の運搬時の幕板補強と人造大理石カウンターのシンク支持を目的に取り付けられた部材です。キャビネット設置後、栈木の取付ねじを全て外し、栈木を取り外してください。



QCB-90H、120H



QCB-135H

8. カウンターの取付け

⚠ 注意

人造大理石カウンター・ステンレスカウンターのL形コーナー接続部の鋭角部分には直接手を触れないようにしてください。

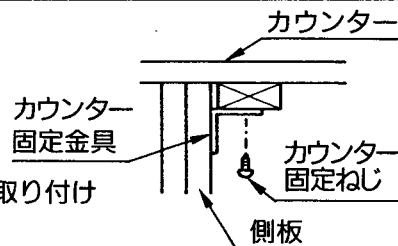
※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。



- I形プランの場合、カウンターをベースキャビネットの上に位置を決めて仮置きします。

次にカウンター裏面の補強木に、カウンター固定金具を通してカウンター固定ねじで固定します。

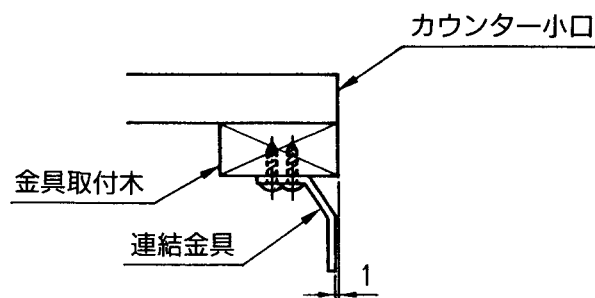
- L形プランの場合、コーナー部に取り付ける連結金具は、下記に従って取り付けてください。(カウンター連結金具に説明書が同梱されております)。



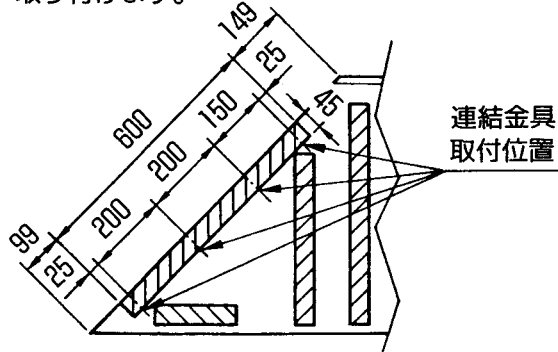
(人造大理石カウンターの場合)

- (1) 連結金具をカウンター裏面に取り付けます。

- カウンターに同梱の連結金具 (KP-352) を、カウンター接続小口面より1mm控えた位置で金具取付木に固定します。

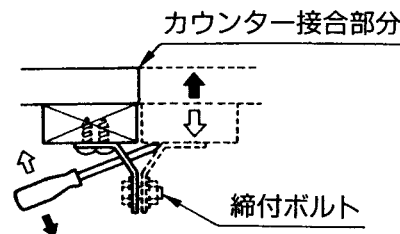


- 取付け箇所はそれぞれ4箇所、指定の位置に取り付けます。



- (2) カウンターをベースキャビネットの上に仮置きします。

- (3) カウンター位置を合わせ、コーナーのつなぎ部分を裏面から連結金具で固定します。このとき高さの微調節のため締付ボルトはゆるめにしておきます。高さの微調節は連結金具の調節穴にドライバーを差し込み、上下させることで行います。調節終了後、締付ボルトを本締めします。

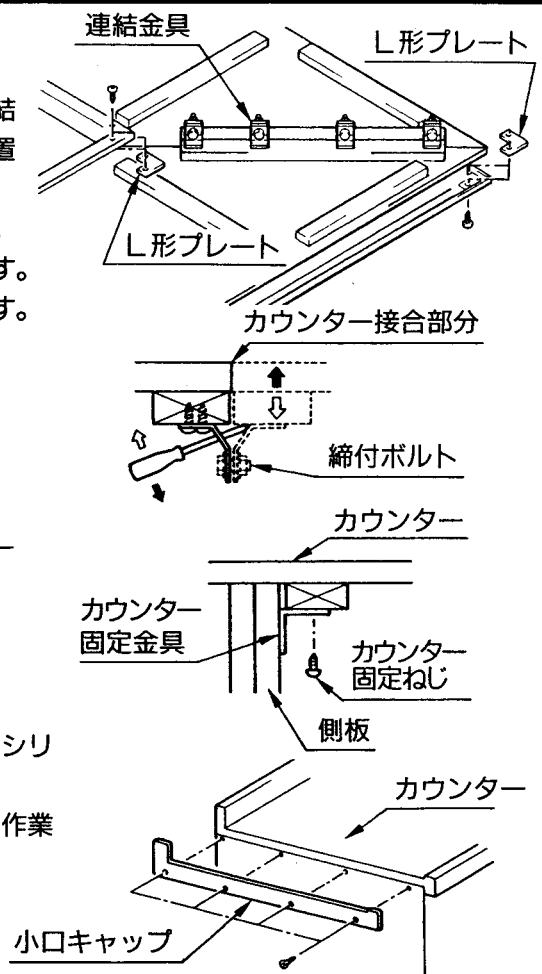


(ステンレスカウンターの場合)

- (1) 平坦な床面にカウンターを裏返しにして置き、カウンターの連結金具に同梱の説明書に従ってカウンターの連結金具を所定の位置に取り付けます。(「人造大理石カウンターの場合」と同様)。
- (2) 取り付けした連結金具を利用してカウンターの仮接続を行います。
前垂れ下端部、バックガード上端部にL形プレートも仮固定します。
- (3) カウンターをもとに戻し、ベースキャビネットの上に仮置きします。
- (4) 双方のカウンターのレベル調節をしながら締付ボルト、L形プレートをしっかりと固定します。

- (5) カウンター位置を調節し、カウンター裏面の補強木にカウンター固定金具を通してカウンター固定ねじで固定します。

- (6) オープンエンドの場合は、カウンターに付属の小口キャップをシリコンと小口キャップに付属の取付ねじで接着固定します。
※小口キャップの取付けは、先付け仕様に変更しており、取付作業が不要となる場合があります。



9. L形カウンターの接続部の仕上げ

⚠ 注意

L形コーナー接続部に接着剤（人造大理石カウンターの場合）又はシリコン（ステンレスカウンターの場合）を前垂れからバックガードまで十分に充填し、仕上げ後再度確認してください。

※接着剤又はシリコンの充填が不十分で接続部にすき間があると使用中の漏水の原因になります。



(人造大理石カウンターの場合)

カウンターに付属の施工説明書に基づき同梱樹脂で仕上げます。

⚠ 警告

人造大理石カウンターの接続に使用する接着剤は接着剤に付属の施工説明書(注意表示)に従って正しく使用し、後処理してください。

※誤った使い方・後処理をすると人体に影響が出たり、発火の原因になります。



(ステンレスカウンターの場合)

カウンターに同梱されているシリコンで仕上げます。

(1)コーキングの目地幅を残しマスキングテープを張ります。

(2)シリコンを奥まで詰めるように打ち、指で仕上げます。

(3)マスキングテープをはがします。

※シリコンが完全に硬化するまで(約24時間)手をふれたり、ゴミ・ホコリが付かないよう注意してください。

10. 食器戸棚・トールキャビネットの取付け

(1)食器戸棚、トール用ベースキャビネット上端部(側板上面より2mm下)に、カウンター固定金具をカウンター固定金具取付ねじで取り付けます。

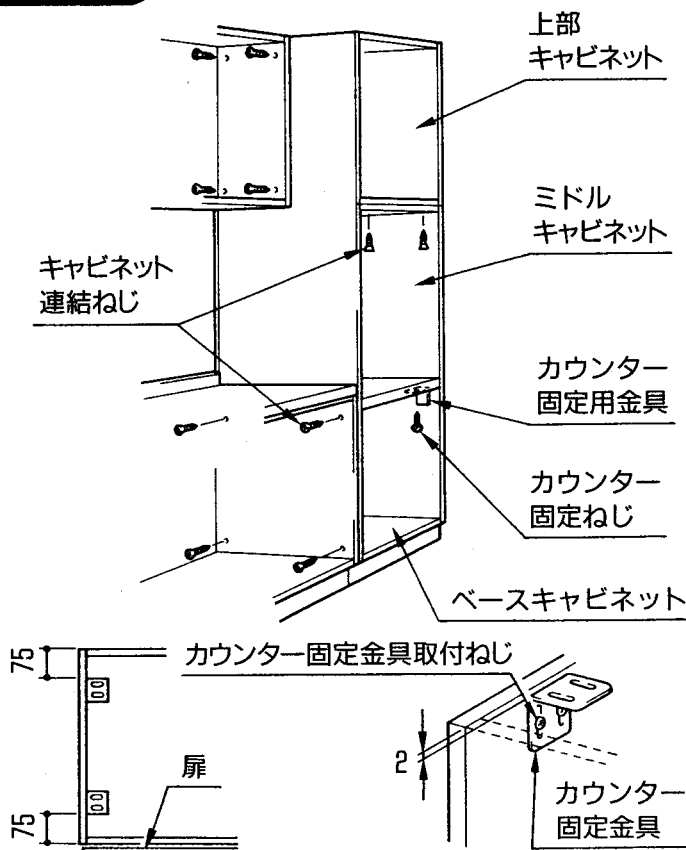
(2)食器戸棚、トール用ミドル、上部キャビネットを所定の位置に仮置きし、隣接キャビネットとの整合に注意してキャビネット連結ねじで接続します。

※この時、連結するキャビネットの側板にはφ3の下穴を開けてください。

(3)ベースキャビネット内部から、カウンターの固定と同じようにカウンター固定ねじで固定します。

※前面、側板にズレが生じないように注意してください。

(4)ウォールキャビネット取付用キャップ付木ねじで壁面に固定します。



11. 冷蔵庫用サイドパネルの取付け

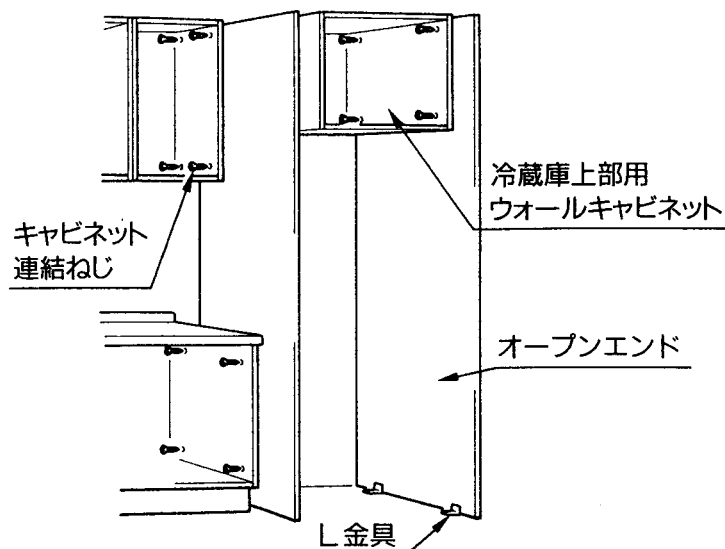
※冷蔵庫用サイドパネルはL/R共通です。

※高さは2,400mmです。現場に応じて切断してください。

(1)隣接するウォールキャビネットと、冷蔵庫上部用ウォールキャビネットとの間に冷蔵庫用サイドパネルを挟み込み、キャビネット連結ねじで固定します。

※この時、キャビネットの側板にφ3の下穴を開けてください。

(2)冷蔵庫用サイドパネルがオープンエンドの場合はパネルの下端を付属のL金具で床に固定します。

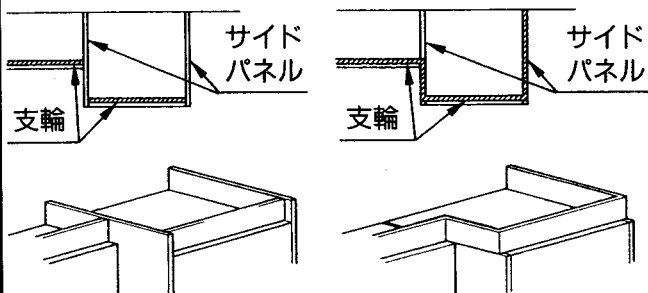


12. 支輪の取付け

- (1) 支輪を必要寸法に切断します。
- (2) キャビネット上部及び天井部に補強木（現場調達）を取付け支輪を接着剤等で補強木に取り付けます。

ウォールキャビネット上端

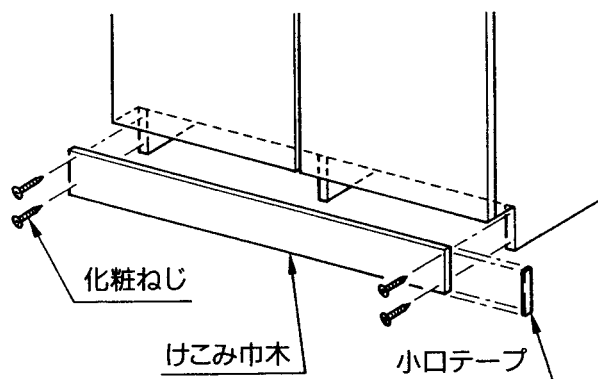
※冷蔵庫上部の支輪の取付方法には、次の2通りがあります。現場に応じて対応してください。



※2枚以上の支輪で取付けを行なう場合、キャビネットの継ぎ目あるいは、扉割の位置に合わせて処理してください。

13. けこみ巾木の取付け

- (1) けこみ巾木を必要寸法に切断します。
 - (2) 前面より、けこみ巾木をベースキャビネットけこみ部分にはめ込み、キャビネットの側板小口面に付属の化粧ねじで取り付けます。
- ※けこみ巾木の両端部の小口仕上げが必要な場合は、付属の小口テープを適切な長さに切断して、けこみ巾木小口面に張り付けてください。
- ※2枚以上のけこみ巾木で取付けを行う場合は、キャビネットの継ぎ目に合わせて、処理してください。



14. 水栓金具・排水器具の取付け

△ 注意

水栓金具・排水部品（大形ごみ収納器等）の取付部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。

※ナットの締付けが十分でないと使用中に取付部から漏水する恐れがあります。

排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水口との接続を確実に行ってください。

※使用中の漏水の原因となります。

- (1) 水栓金具を専用工具（HG-18）を用いて取り付けます。水栓金具の取付けは、シリコン硬化後に行います。

※水栓金具に同梱の取付説明書をご覧ください。

- (2) 大形ゴミ収納器を専用工具（HG-1A）を用いて取り付けます。

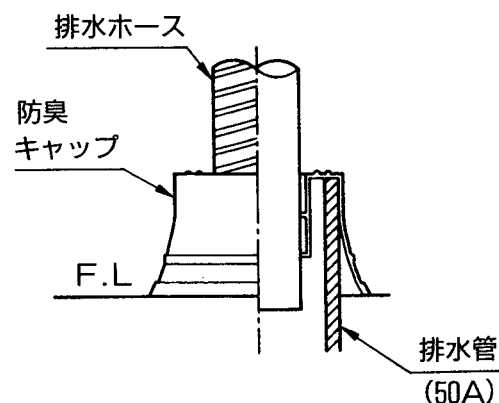
- (3) 排水ホースを取り付けます。

※一次側排水管との接続は右図のように行ってください。

※排水ホースが、2重トラップにならないよう適切な長さに切断し接続を行ってください。

※防臭キャップと一次側排水管の接続は漏水防止のため接着を行ってください。

※水栓金具、大形ゴミ収納器、排水ホース、排水管の各接続部から漏水のないことを確認してください。



15.ビルトイン機器の取付け

ビルトイン機器を機器に付属の説明書に基づいて取り付けます。

16.配管・配線の接続

専門の工事業者に依頼し、ガス管、給水・給湯管、電気配線の接続を行います。

17.コーキング

△ 注 意

シリコンコーキングの指示箇所は、確実にコーキングを行ってください。
※コーキングされなかったり、コーキング不十分な場合水が浸入し、壁・床の腐食の原因となります。

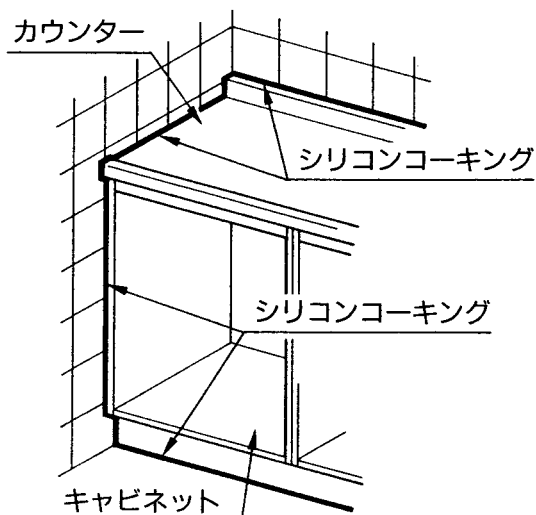


●カウンターまわりのコーキング

- (1)カウンターと壁やツールキャビネットとの合わせ部分にシリコンコーキングの目地幅だけ残し、両側にマスキングテープを張ります。
- (2)タイル用目地の上に重ねてシリコン(白)コーキングします。
- (3)マスキングテープをはがします。

●キャビネットまわりのコーキング

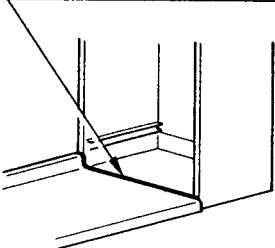
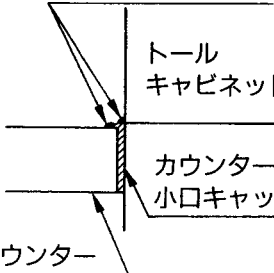
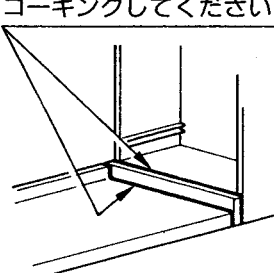
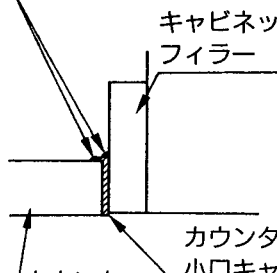
カウンターまわりと同様にキャビネットと壁の間、けこみ巾木と床の合わせ部分にシリコン(クリア)コーキングをします。
※壁とカウンターのすき間が大きい場合は、スポンジテープなどのバックアップ材を装てんしてシリコンコーキングしてください。



●ツールユニット水切り棚(QST-30MR/L)のコーキング

●コーナー用食器戸棚水切り棚(QSC-90MDR/L, MK)のコーキング

※カウンターとの突合せ部分(水のかかる底板の周囲)にも入念なシリコンコーキングを行います。

太線部分を入念にシリコンコーキングしてください 	どちらもコーキングしてください。  ツール キャビネット カウンター 小口キャップ カウンター (前から見た図)	太線部分を入念にシリコンコーキングしてください 	どちらもコーキングしてください。  キャビネット側 フィラー カウンター 小口キャップ カウンター (前から見た図)
ツールユニット水切り棚	コーナー用食器戸棚水切り棚		

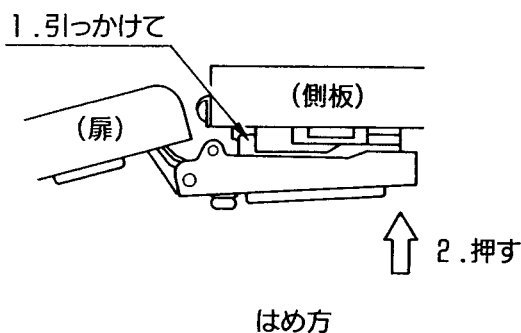
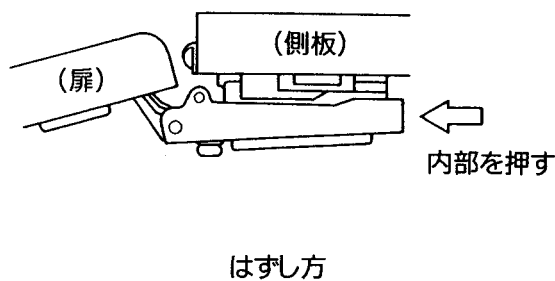
※図はステンレスカウンターの場合

人造大理石カウンターは小口キャップが付いていません。

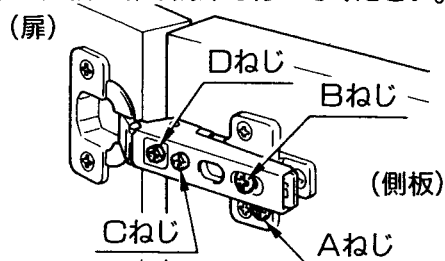
● 施工後の調節

1. 扉の調節

(扉のはずし方、はめ方)

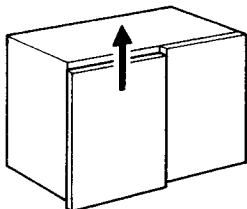


以下の要領で扉の調節を行ってください。



● 扉の吊り元を変える場合

- (1) 垂直方向調節ねじ(Aねじ)をゆるめます。
(右へ回す)
 - (2) 扉を上方へ動かし、Aねじを締めます。
(左へ回す)
- ※調節範囲：上方向2.0mm、下方向2.0mm

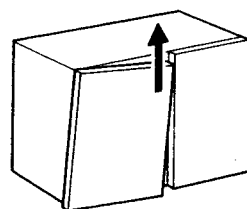


● 扉の先端を上げる場合

- (1) 扉の下の蝶番の左右方向調節ねじ(Cねじ)を1回転ほど締めます(右へ回す)。
 - (2) 扉を閉めて確認します。
 - (3) 正しい位置になるまで(1)～(2)を繰り返します。
- ※扉の先端を下げる場合は、逆に扉の上の蝶番で調節してください。
- ※調節範囲：扉左右方向へ2.0mm

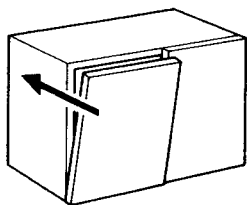
(4) 前記の(1)～(3)の調節で扉と扉のすき間が他のすき間と違ってきた場合は上下の蝶番のCねじを同じ割合で回して調節します。

- ・ 右へ平行移動する場合
…Cねじを右へ回す
- ・ 左へ平行移動する場合
…Cねじを左へ回す



● 扉と側板のすき間が上下で違う場合

- (1) 扉の上の蝶番の固定及び前後方向調節ねじ(Bねじ)をゆるめ、扉を動かして正しい位置にします。
 - (2) 正しい位置にBねじを締め付けます。
- ※調節範囲：前方向2mm、後方向1mm
- ※1枚の扉だけで調節できない場合は、両隣りの扉も含めて調節してください。



● 扉のキャッチ力調節を行なう場合

- ※キャッチ力調節機能は、コーナーキャビネット(観音扉タイプ)及び間口150mmキャビネットには付いておりません。
- キャッチ力調節ねじ(Dねじ)により扉の大きさ・重さに応じた閉まり具合に調節することができます。
- ・ キャッチ力最大(強)にする場合……Dねじを右へ回す
 - ・ キャッチ力最小(弱)にする場合……Dねじを左へ回す
- ※調節前のキャッチ力は強弱中間のところに調節してあります。

⚠ 注 意

調節後は全ての扉のAねじおよびBねじを固く締め付けてください。
※締め付けが不十分な場合、蝶番が外れ、扉が落下する恐れがあります。



2. 施工後の確認と養生

●施工後の確認

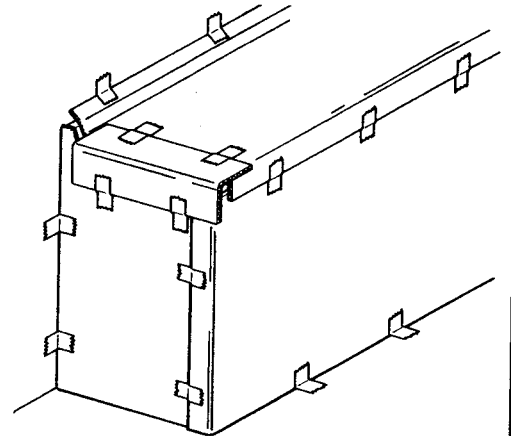
- (1)排水部品に通水し、各接続部から漏水のないことを確認します。
- (2)ビルトイン機器は、機器に付属の説明書に従って、施工後の点検を行います。

●養生

確認が完了したらキャビネットの梱包材などを利用し、汚れ、キズのつかないように養生します。

お願い

- (1)テープを使用し養生を行う場合
キャビネットなどの商品へテープ糊面が直接、付かないようにしてください。
糊面が付きますと商品表面に悪影響を及ぼす場合があります。
- (2)シンク・ガス機器上面を養生で覆ってしまう場合
注意を促すために「シンク注意」「ガス機器注意」と表示をしてください。



(MEMO)



株式会社 INAX

本社 ☎0569-35-2700
東京支社 ☎03-5541-7111
千葉支社 ☎043-227-8171
関越支社 ☎0273-27-1793
静岡支社 ☎054-251-1710
京滋支社 ☎075-222-1794
福岡支社 ☎092-471-1710

札幌支社 ☎011-271-1701
西東京支社 ☎0425-27-3341
埼玉支社 ☎048-667-4848
甲信支社 ☎0263-36-2166
北陸支社 ☎0762-64-1710
広島支社 ☎082-223-1710
南九州支社 ☎096-322-1794

東北支社 ☎022-263-1710
横浜支社 ☎045-242-1710
東関東支社 ☎0286-37-3378
名古屋支社 ☎052-201-1717
大阪支社 ☎06-532-6081
四国支社 ☎0878-21-1701